

「Hypernet of Things Conference & Exhibition 2019」 出展レポート

アムニモ株式会社は、2019年11月13日(水)~14日(木)にマレーシア・クアラルンプールで開催された「Hypernet of Things Conference & Exhibition 2019」に出展しました。アムニモ社は、マレーシアの現地パートナーを開拓し Measurement as a Service の提供を通じて、当地の中小企業の高度化を支援することを訴求しました。実施にあたり、Foundation Partner である TK International Sdn. Bhd.と共同で運営しました。

<イベント概要>

本イベントは、マレーシアで2016年後半に結成された民間のIoT業界団体である Malaysia IoT Association (MyIoTA)主催の展示会です。マレーシア政府は2018年10月にインダストリー4.0国家政策を開始し、アムニモ社はその流れに乗り、公的機関主催の展示会・セミナーにて情報発信してきましたが、このイベントは民間主催で参加者・来場者ともIoTビジネスに参画している企業が多く、よりビジネスに直結した企業の開拓と議論が可能になります。

- 日時 2019年11月13日(水)~14日(木) 9:00-17:00
- 場所 Malaysia International Trade and Exhibition Centre (MITEC), Kuala Lumpur
- 主催 Malaysia IoT Association (MyIoTA)
- 展示数 11社 (スマートマニュファクチャリングやスマートシティ向けIoTのサービスやデバイスの提供事業者等)
- 来場者数 約800人 (昨年度の数値を参考)

① ブース展示

アムニモは、スマートマニュファクチャリングを実施・活用する事例として、amnimo sense (アムニモ センス) を活用した2つのレシピデモを展示しました。

1. 温度監視レシピ (適応事例: 水産冷凍室内等)
2. CO2 濃度監視レシピ (適応事例: 建物内不快検知等)

この展示を通じて、同サービスが提供するセンサ情報収集、ダッシュボード表示、データ格納という Measurement as a Service の基本機能を理解してもらい、さらに同サービスに含まれるサブスクリプション管理等のビジネス支援機能を利用することで、現地パートナーがアプリケーションを開発し付加価値を載せてビジネスを拡大できることを訴求しました。

② 講演、パネルセッション

展示と並行して、出展者やゲストスピーカーによる講演が行われました。ハイライトとして、5G、AI、IoT時代の到来による仕事の変化 (Future of Jobs) をテーマにパネルセッションが開かれ、有識者によるディスカッションが持たれました。マレーシアでも長期雇用が減り短期プロジェクト型で個人が集まる働き方にシ

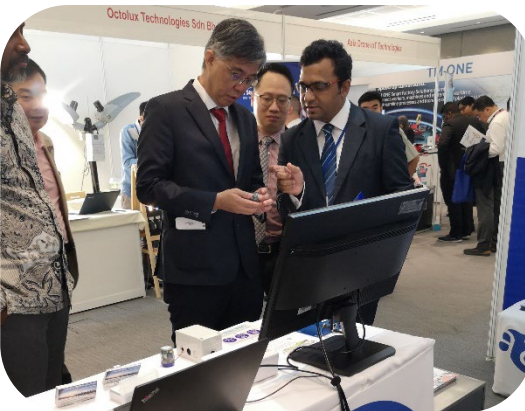
フトしていることや、大企業に属さずに起業する 10 代の若者が出てきていること、既存の学校教育は人材を型にはめてしまい Industry 4.0 の時代にそぐわないこと、仕事しながら学びを継続していく必要があることなど、働き方の大きな変化に伴う課題が提起されましたが、その潮流は先進諸国と共通でした。



amnimo sense 活用レシピを展示



amnimo のパートナー協業モデルを説明



ゲストパネリストの Mr. Tian Chua, Chairman, Malaysia Productivity Centre & Special Advisor to Minister of Works が見学し説明